

副会長就任のご挨拶

中込 秀樹

(千葉大学大学院 工学研究科 教授)

この度、会長の真下先生からのご指名によりまして副会長をお引き受けすることとなりましたので、会員の皆様に一言ご挨拶をさせていただきます。本人事は昨年の総会にて副会長に選任されました佐藤芳樹様の急逝に伴いますものであります。私は佐藤様のように、プラスチックのリサイクルに関する長年の輝かしい研究歴と数々の実績、見識がありますわけでも無く、この点は会員の皆様にあらかじめお詫び申し上げなくてはなりません。そこをご容赦頂きました上で、何ができるかという事を少し考えてみました。

私自身は東芝に25年間勤務しました後に、平成16年5月から千葉大学に移りまして現在に至っております。東芝時代は磁気浮上列車やMRI等の超電導システムの冷却技術に関する研究開発、廃棄物熱分解ガス化システムの開発と製品化等に携わりました。企業時代の開発経験からできるだけ実用規模に近いスケールの装置を用いて試験を行うことが肝要と考えており、大学構内に前田製作所から譲り受けました1トン/日のプラスチック油化プラントを設置しております。

このような経緯から、まずプラスチック油化システムの経済性も考慮に入れた実用化と世の中への定着に関して何かお手伝いできればと思います。最近は少し沈静化しておりますが、原油価格の高騰も大きな追い風ではないでしょうか。研究面では間口の拡大と、それを実現するための新技術の深耕が重要となります。間口に関しましては、プラスチック、廃棄物、リサイクル、油化、ガス化、バイオマス、水素、二酸化炭素、燃料、化学原料、薬品、等いろいろなキーワードが頭に浮かびます。

最後に思いますのは「人の和」です。真下先生、平野先生のおられる御茶ノ水の研究室に加茂さんとお伺いしました際に、両先生方より何か機会がありましたら是非立ち寄ってくださいとのお言葉を頂きました。お言葉に甘えて、少人数でも良いですからできるだけ集まって話し合う機会を増やすことが研究会の活性化のためには大事だと思います。

是非今後とも会員の皆様のご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

